

# 平成 20 年度第 4 回（第 183 回）備中地区司書部会

日時：平成 21 年 1 月 16 日（金） 10:00～16:00

会場：岡山県立図書館 多目的ホール

参加人数：20 名

司会進行： 午前・・・原弘江（倉敷南） 午後・・・東根さやか（水工）

記録：川上倫代（県立玉島）

## 1. 開会

## 2. 協議事項

### 1) 平成 21 年度岡山県学校司書研修会（玉野大会）について

「著作権に関する質問」用紙の配布 →玉野大会で講師の方に Q & A 方式で答えていただく予定。今年度中に備中のものをまとめるので、2/27 締め切りで、加藤司書（天城）まで提出。手書きの F A X、データ（備中司書部会 H P からダウンロード）送付どちらでも可。

### 2) 資料研究「わたしのすすめるこの一冊」 次回のテーマ

次回日時：3 月 5 日（木）

次回テーマ：「図書館オリエンテーションに使える & 新入生にオススメの本」

「こんな特集しました！（特集で好評だった本の紹介）」（余力があれば、テーマごとのブックリストも）

## 3. 研修

### 1) 資料研究「わたしのすすめるこの一冊」

昼休憩に、机に展示する。各校のコメントはレジユメに添付。

### 2) グループ研修（美作との合同研修）

#### ①「学校活動と連携」班

（参加校）玉島、青陵、高梁、笠岡、笠商、玉商、倉工、津山、津工

美作地区との合同研修となったため、このグループ研修の概要を説明した。

学校全体で取り組めるような企画、委員会企画などのアイデアを共有する試みである。

今回はミニ発表会を行うつもりで、各校のレポートを一まとめにする予定。写真をつけて倉工まで送ってもらう。

<現在出た活動>スタンプラリー、文化祭展示企画、ファンレターを書こう！、人権週間クイズ企画、委員会だより、蔵書点検、クリスマス映画上映会、まめ本作り、古本市

<協議>各校の取り組みについて、質問や情報交換をした。

- ・ スタンプラリーの景品のアイデア、期間を区切るとよいこと、工業ではスピードくじなどはどうか？（面倒くさくない）
- ・ 委員の生徒に HR で宣伝をしてもらう、委員が学年を超えて交流できる場にする
- ・ 委員会の生徒がスムーズに活動できるよう、文化祭前に何か取り組みを挟む
- ・ 上映会では時間の都合があるので注意する
- ・ 古本の集め方（先生にお願い、当日の引換券を渡すなど）
- ・ クイズやプレゼントは、図書日より等に引換券をつけてポイされない工夫を

## ②「資料研究」班

- ・ A班<ジャンル別>（倉商・倉敷南・総社南・高松農・矢掛・市倉工・津山商）

今回の研修テーマは「絵本・メッセージ絵本について」。①選ぶ基準②利用の多い絵本③置き方、見せ方の工夫④絵本についてのうんちく⑤よい絵本の例やオススメ作家について、各校であらかじめまとめたものを持参して情報交換した。

基準についてはどの学校も特にないが、雑誌（「ダ・ヴィンチ」「MOE」）を参考に受入している。情報が一般の図書に比べて少ない。校種によっては保育での利用や農業関係の絵本を入れている。

オススメの絵本を紹介するまでには至らなかったが、比較的人気のある絵本を持ち寄り紹介も行った。

利用に関しては貸出自体にはあまり出ていないが、館内閲覧での利用で生徒の癒しとなっているようである。

また、本を読まない生徒に対して、マンガの次に薦めることができるのは絵本やどんな本がよいかといった相談もあった。

次回テーマは「マンガ」「ライトノベル」について。

- ・ B班<ジャンル別>（天城・水工・中央・笠工・鴨方・井原）

前回の課題である、各校の得意分野で行った特集展示の結果報告を行った。また、美作地区との情報交換も行った。

・倉敷天城……インドから留学生がやってきたのに併せ、インドに関する特集（宗教、インド数学、伝統衣装など）を行った。異文化に触れ、会話が広がるきっかけとなった。また、年末年始にはクリスマスとお正月に関する特集と併せて、「笑う門には福来る」という諺から「笑える本」の特集も行った。

・水工「部活の本」……年度初めに図書館オリエンテーションと連動して行った「水工の部活、全部紹介します！」コーナー、各運動部顧問に紹介した「運動部応援本」（ブックリスト）の紹介・反省と次年度の計画（自館資料のみ使用）。新入生だけでなく、在校生や教職員にも「図書館は部活を応援している」という姿勢が伝わったように思う。今後も期待に応えられるよう、点ではなく線で繋がった息の長い特集を組む。

・倉敷中央……年末年始に関する特集（自館資料のみ使用）を行った。前半（12/15～25）では主にクリスマスについて、後半（12/25～1/9）ではお正月に関する話題（室礼、おせち料理、伝統的な遊び、箱根駅伝）を取り上げた。冬休みの期間と重なり、

注目度はやや低かった。

・笠工「TV化・ドラマ化の本」……映画化や秋にドラマ化された本の特集で、東野圭吾（『流星の絆』『容疑者 X の献身』）や重松清（『その日のまえに』『青い鳥』『きみの友だち』、『赤い糸』（メイ））を取り上げた。図書館だよりなどの広報とも連携し、回転率が上昇した。

・嶋方「食べものの本」……バレンタインに関する特集を行う。本に掲載されたお菓子を実際に作って写真を撮ったり、併せて相性占いの本や「おくる」本（ラッピングやギフトボックス等）も展示予定。

・井原「絵本（読み聞かせにオススメの絵本）」「お菓子の本」「新着図書」……「絵本」特集では自館資料からテーマに沿って絵本を選んだ後、色紙でPOP（カード）を作り絵本と併せて展示したところ、多くの生徒の注目を集め、手にとってもらえた。次はPOPに読み聞かせの所要時間も入れたい。「お菓子」特集では、お菓子の種類別に本を分類し、テーマごとにまとめた（焼き物、アイス、チョコなど）。結果、生徒だけでなくその家族からも問合せがあったほか、どんな本があるのか把握でき、整理しやすくなるという、図書館側のメリットもあった。「新着図書」特集でもPOPを作り、本と併せて展示。生徒からの問合せに応じやすくなり、貸出の際はPOPを外すためどんな本が生徒に人気か分かりやすく、逆に貸出が少ない本はアプローチ方法や生徒とのコミュニケーションに工夫をこらすようにするなど、結果から課題を把握しやすくなった。カードを見て本を借りる生徒が増え、読んでもらいたい、知らせたい本を効果的に伝える手段となっている。作製したPOPは年度末に「本年度新しく入った話題の本」としてまとめて展示した。

今回は、課題の結果報告2回目、次回オススメ本テーマの「こんな特集しました！（特集で好評だった本の紹介）」を利用し、各校で共有できる特集展示について考える。

#### 4. 合同研修「ブックトークについて」（備前、美作との合同研修）

##### 1) 「ブックトークとは」妹尾司書（精研）

ブックトークの概要についての説明。

なかでも、“ブックトークのねらい”では、

- ・生徒が見つけにくい本を取り上げ、興味をおこさせるようにすること、
- ・1つのテーマについて、さまざまな本を紹介してもらうことにより、そのテーマについて考えを広げたり深めたりすること、

の重要性を強調。

##### 2) ブックトーク実演 綾野司書（玉野光南）

テーマ「 —— おくる つながる —— 」

Mr.childrenの曲の歌詞の朗読を導入にして、テーマに関する7冊の本を順々に紹介。

ブックトークは行う人が変われば、内容も変わるもの。実践あるのみで、自分のブックトークを磨いていって欲しい、と絞めくくられた。

### 3) ブックトーク実践

- ・レジュメにあるマークにしたがってグループに分かれ、「変」、「ゲー」いずれかのテーマでブックトークを行う。

使用する本は、県立図書館内で探し、貸出手続きを行って使用する。

- ・前半 1 時間で、本探し～ブックトークの組み立てを行い、後半の 1 時間で、グループごとに前に出て発表（代表 1 人でも、全員でも可）を行った。グループの代表は、後日使用した本のリストを、東根（水工）まで送付すること。

次回：3月5日（木） 倉敷天城高等学校